

令和6年度（2024年度）

管理事業名	歴史文化まちづくりセンター事業				総合計画 の体系	大綱	7	都市魅力		
						政策	2	文化・スポーツに親しめるまちづくり		
						施策	1	文化の振興		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	2	総務費	(項)	1	総務管理費	(目)	24	歴史文化まちづくりセンター費
部局名	都市魅力部	予算執行 所属		文化スポーツ推進室						
事業の目的と概要										
【目的】 吹田の歴史と文化のまちづくりに関わる市民相互の交流と連携の促進を図り、地域に息づく歴史及び文化を保存し、発展させることにより、まちに個性、魅力及び潤いをもたらし、地域社会の発展に寄与することを目的としている。										
【概要】 ・歴史文化まちづくりセンターの施設管理運営 ・施設の特性をいかした文化教養講座や季節行事、伝統芸能行事等の事業を実施										

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指 標 の 定 義
貸館利用者・見学者	人	12,541	17,355	17,494	貸館利用者・見学者の合計
催事開催数（市主催・自主事業）・事業参加者数	事業数 実施数 参加者数	38 59 1,729	40 57 2,918	43 54 2,506	市主催及び指定管理者による自主事業イベント等開催数の合計及び参加者数

II 活動実績・成果

【成果指標1】貸館利用者・見学者についての評価 ・貸館利用者・見学者の人数 17,494人（前年比：139人の増） 【成果指標2】催事開催数・事業参加者数についての評価 ・事業数43事業、実施数54回、参加者数2,506人 ・委託事業として、古民家という施設の特性をいかして季節の行事等のイベント等を実施した。 ・補助金事業として、「古文書入門」をはじめとする学習・教養講座、地域交流事業、芸能・芸術・演奏事業、まちづくり調査研究の事業を実施した。 【財務情報に基づいた評価】 施設老朽化比率が81.8%で前年度と比べて2.3ポイント増加している。	
---	--

III 課題と今後の取組

施設老朽化比率は81.8%となっており、もともとが古民家を改修した施設のため、計画的な維持補修が必要である。歴史と文化のまちづくりに対する施設の果たす役割は大きいため、今後も継続可能な事業の在り方を検討し、指定管理者と一層の連携に努め、市民満足度の高い施設運営を行うことが必要である。	季節行事、文化教養講座、伝統古典芸能など様々な事業を行っているが、今後はさらに幅広い世代の市民に歴史文化まちづくりセンターを周知するため、広報の在り方について検討するとともに、歴史と文化に関する事業内容の充実やニーズに合った新しい取組を行っていく。
--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和5年度末 A	令和6年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和5年度末 A	令和6年度末 B	差額 B-A
流動資産				流動負債	971	1,088	117
現金預金	-	-	-	地方債	367	367	-
未収金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	605	721	117
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
固定資産				固定負債	6,899	7,244	345
有形固定資産	728,248	722,182	△6,066	地方債	1,467	1,100	△367
土地	673,923	673,923	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	54,325	48,259	△6,066	退職手当引当金	5,433	6,144	711
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	7,871	8,332	461
インフラ資産	-	-	-	純資産	720,377	713,850	△6,527
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	-	-	-
重要物品	-	-	-	リース債務	-	-	-
図書館資料	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	728,248	722,182	△6,066
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	728,248	722,182	△6,066				

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和4年度	令和5年度 A	令和6年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	1,011	1,043	1,080	37
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	54	44	68	24
経常収入 小計(a)	1,066	1,087	1,148	62
経常費用				
給与関係費	5,117	6,778	7,653	876
物件費	25,748	25,980	25,962	△19
維持補修費	347	485	642	157
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	3,009	3,001	3,178	177
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	6,066	6,066	6,066	△0
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	452	605	721	117
退職手当引当金繰入額	378	1,636	1,211	△425
支払利息	0	0	0	△0
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	41,117	44,551	45,434	883
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△40,051	△43,464	△44,286	△822
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△40,051	△43,464	△44,286	△822
一般財源充当額	34,289	36,256	37,759	1,503
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△5,763	△7,208	△6,527	681

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和4年度	令和5年度 A	令和6年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	1,066	1,087	1,148	62
行政サービス活動支出	34,987	36,976	38,540	1,564
行政サービス活動収支差額	△33,922	△35,889	△37,392	△1,503
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	367	367	367	-
財務活動収支差額	△367	△367	△367	-
収支差額 合計	△34,289	△36,256	△37,759	△1,503
一般財源充当額	34,289	36,256	37,759	1,503
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 建物・工作物	減価償却による6,066千円の減
【PL】 維持補修費	歴史文化まちづくりセンター修繕料 642千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者1人	コスト 12,541 円	コスト 17,355 円	コスト 17,494 円
	実績 円	実績 円	実績 円
分析内容	利用者1人当たりのコストは前年度からほぼ横ばいとなった。		

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	9,544	142	1.00
会計年度任用等	-	-	-
特別職非常勤	42	-	-
合計	9,586	-	-

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和4年度	令和5年度 A	令和6年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		77.2	79.5	81.8	2.3
施設維持補修費比率		0.1	0.2	0.2	0.0
経常費用対公共資産比率		15.5	16.8	17.2	0.4
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		2.5	2.3	2.4	0.1
一般財源充当比率		97.0	97.1	97.0	△0.1